



遠大勵志

◎2/6(水)付 朝日新聞

「ひと」欄に掲載

自治体の「水道広域化」を進める
岩手中部水道企業団局長

本校 OB 菊池明敏さん(49回生、60歳)

「隠れ赤字」に気づいたのは、13年前、岩手県北上市で下水道課に異動したときだった。「たいへんなことになる」

官庁会計上は、年10億円近くの使用料収入が支出を少し上回り。黒字だった。しかし古くなった下水道管の更新費など減価償却費が計上されておらず、実質、年に6億円余の「赤字」になっていた。

市長に直訴した。民間出身の市長の顔はこわばり、「事実上の破綻」を理解した。約25%の値上げを決断し、経営改善を図った。

岩手県の和賀町生まれ。会計士をめざしたこともある。上水道の担当になると、水源や上水道を大幅に減らすため、近くの花巻市と紫波町に統合を持ちかけた。「水道の将来は厳しい」と説き、2014年に岩手中部水道企業団に統合。5浄水場を廃止し、将来の76億円の投資を削減。画期的な改革と注目された。

総務省から地方公営企業等経営アドバイザーを委嘱され、全国20近くの自治体で「赤字」を指摘した。「人口減や節水で全国の4割の水道施設が余っている。解消には広域化しかない」と力説する。今年3月で定年退職する。企業団はいま、簡易な装置で微生物により水を浄化する「緩速濾過方式」の実験に取り組んでいる。維持費が安く、「過疎地の無数の水道の切り札になる」。地方ならではの水道改革を後輩に託す



普段意識することもなく使用している水道。最近、水道法の改正がニュースで取り上げられていますが、本校 OB の方が、先見の明をもって、様々考えて環境整備に取り組んでくれたのですね。すばらしいことです。

岩手県高等学校 PTA 連合会・

東北地区高等学校 PTA 連合会

平成30年度広報紙コンクール

◎岩手県コンクール(44校参加)

本校 PTA 会報:優良賞



平成30年12月26日(水)に審査会が行われ、本校のPTA会報「黒陵 PTA 会報 vol.134」が優良賞(第2位相当)の結果を頂きました。広報委員会のみなさまには、お忙しい中、何度も学校に集まっていたたき、創意工夫された紙面を作成していただきました。本当にありがとうございました。岩手県からは本校を含め3校のPTA会報が東北地区コンクールへ推薦されました。

◎東北地区コンクール

本校 PTA 会報:奨励賞

各県から3校選出されたPTA会報の合計18紙で、平成31年2月8日(金)に審査会が行われました。その中で、本校は奨励賞を頂くことができました。広報委員会のみなさまには、本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。



平成31年7月5日(金)に山形市で開催される高P連東北大会で表彰と展示が行われるようです。おめでとうございます。